

トヨタ大手町に OSPO(Open Source Program Office)ができました

トヨタ自動車株式会社

先進技術開発カンパニー

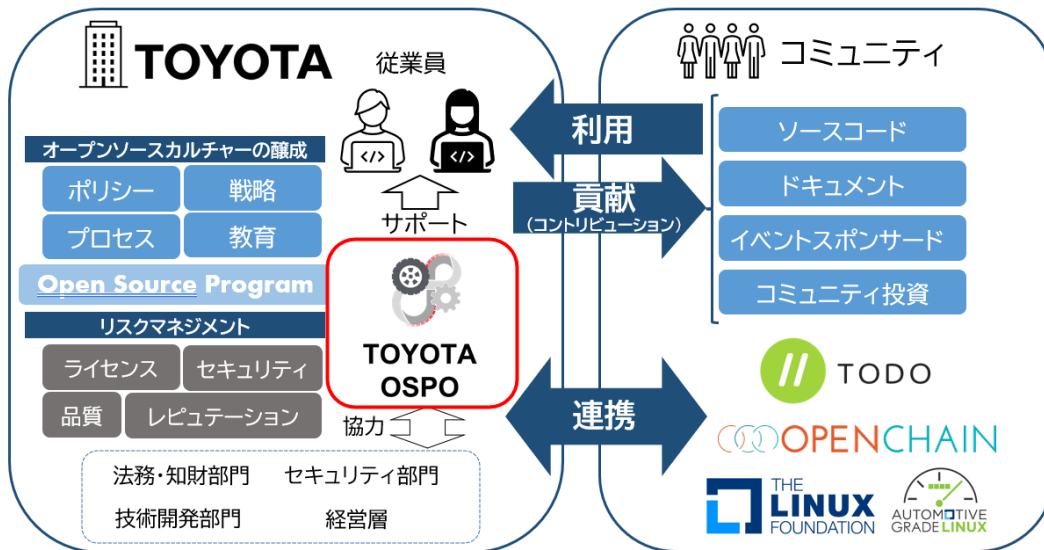
オープンソースプログラムグループ(TOYOTA OSPO)



世界中のエンジニアのコミュニティによって開発されている OSS(オープンソースソフトウェア)。OSS はプログラミング言語、OS(オペレーションシステム)からクラウド、AI まで世の中のほぼすべての分野で活用されソフトウェア開発に欠かせないものになっています。

そんな OSS の利活用の推進を行う組織 OSPO(Open Source Program Office)が今年大手町メンバー中心に活動を開始しました。

■OSPO って何？



OSPO の役割

OSPPO はトヨタのエンジニアの OSS の利用や、コミュニティへの貢献を促進するために様々な部署と連携して、ルールの整備や社内外でのイベントの企画、適切に OSS を利用できるための部品表である SBOM(Software Bill Of Materials)に関するツールの導入などを行っています。また、OSPPO メンバーもコミュニティと連携して、日本や自動車業界におけるオープンソース活動の活性化に取り組んでいます。元々、OSS に関わっているエンジニアが草の根的に集まって作られた組織なので、エンジニア目線で何が必要かということを常に意識して活動を進めています。



大手町の若手がボランタリーに参加



大手町には世界中のコミュニティの皆様が訪れる

■ OSPO の社外活動事例

OSPO の活動はトヨタ内だけに止まりません。ソフトウェア業界や自動車業界の発展のために、コミュニティの皆様と共に新たな取組を進めています。

・トヨタ大手町にて eBPF Japan 初のイベント開催

CNCF (Cloud Native Computing Foundation)の日本支部である Cloud Native Community Japan の SIG (Special Interest Group)として、eBPF Japan Community の運営が 2024 年に開始されました。eBPF Japan Community は、ベンダ中立な立場としてクラウドネイティブの根幹技術である eBPF のユースケース紹介や関連する Linux カーネル技術の紹介をする活動を通して、日本企業への eBPF 導入推進に取り組んでいます。

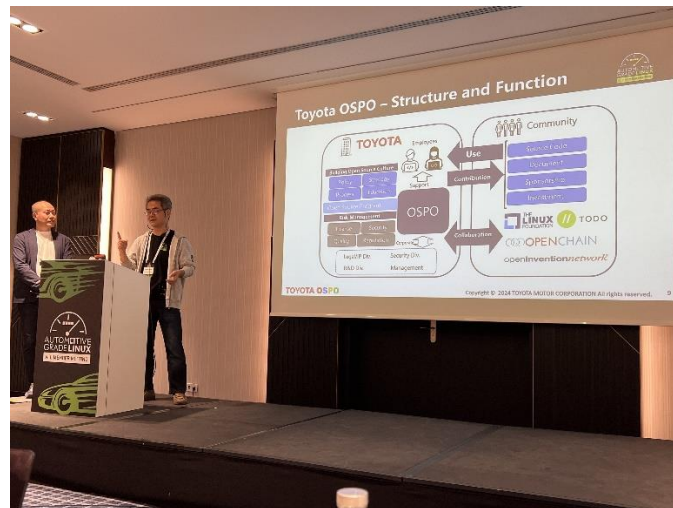
'24/8/19 には初の meetup がトヨタ大手町で行われ、満員御礼で熱気のある立ち上がりとなりました。



トヨタ大手町での meetup の様子

・AGL OSPO EG の立ち上げ

自動車業界のエンジニアの OSS コミュニティ活動を活性化するため、'24/7/17-18 にベルリンで開催された AGL(Automotive Grade Linux) AMM(All-Member-Meeting) 2024 にて、OSPO の設置推進・OSPO 間の情報・ベストプラクティスの共有を行うための場として OSPO-EG(Expert Group)の設置を OSPO メンバーの伊藤 雅典が提案しました。提案は承認され、今後活動を本格化していきます。



AGL AMM 2024 での発表の様子

・Japan Evangelist Program への参画

OSPO のグループ長である遠藤 雅人が、The Linux Foundation の初代 Japan Evangelist に就任しました(詳細は[こちら](#))。Japan Evangelist は、地域のコミュニティリーダーとして、日本から世界的なイノベーション推進の場で活躍する機会を経験や情報でサポートし、また地域に根ざした固有の文化や言語に対応したコミュニティ活動を推進していきます。



Japan Evangelist Program の詳細は[こちら](#)



Open Source Summit North America 2024 での発表の様子